

おすすめ本を しょうかい ご紹介します



2024

11

月号

1〜2年生くらいから

しくみがわかるよ！



さんたろうくんが8かいだてのデパートにかいものに行くと、エスカレーターとエレベーターがあったよ。どんなちがいがあるのかな？

『エスカレーターとエレベーター』
小輪瀬 護安 さく 福音館書店



こねこが、ぼくを
みつけたんだよ

ウィリアムがまいごのこねこをけいさつしょにつれていくと、かいぬしが3にんもあらわれちゃった！

『ウィリアムの子ねこ』
マージョリー ブラック 作 絵 まさき りこ 徳間書店

3〜4年生くらいから

わるい王さまには
まけない



ひどいしうちばかりする王さまに、九人のきょうだいは自分の一番とくいなことで立ち向かった。中国の昔話。

『王さまと九人のきょうだい』
君島久子 訳 赤羽末吉 絵 岩波書店

わすれられたものたちは、
わすれた人をわすれない



大切なたて笛をなくしたツトム。放課後の教室にさがしに行くと、わすれものを集めているきみのような二人組に出会った。ツトムの笛のゆくえは？

『わすれものの森』
岡田淳 作 浦川良治 作 BL出版

5〜6年生くらいから

植物の神様！



日本の植物学は西欧より100年遅れているといわれていた時代に、「植物をもっと知りたい」とひたむきに植物を研究した牧野富太郎人物伝。1500以上もの植物を発見し、名前をつけた人だよ。

『牧野富太郎』
横山充男 著 ウチダヒロコ 絵
くもん出版

アイデアって
だいじ



お母さんにプレゼントした手づくりのバースデーカード。皆も欲しいって言うてくれたから、たくさん作ってネットで売ったの。そうしたら、本格的な商売になっちゃった！

『起業家フェリックスは12歳』
アンドリユー・ナリス 著 千葉茂樹 訳
あすなる書房

